

質問

まちづくりや暮らしに関する制度、市が行う事業の執行状況や将来の方針について、議員が質問を通して市の見解を求め、主張・提言・指摘を行います。
 3月定例会では、6つの会派を代表する各議員が代表質問をしました。
 質問時間は、答弁時間を含めて、会派割(40分/会派)に人数割(10分/人)を加えた時間としています。
 (創志会:100分、さんの未来・市民とともに:80分、日本共産党三田市議団・公明党:70分、日本維新の会 三田:60分)



三田市議会会議録 検索

三田市議会ユーチューブチャンネル 検索

※本会議の録画映像を公開しています。

創志会

幸田 安司 議員



市民病院

市民病院の再編統合、進捗状況は

議員 医師不足、医療材料や物価の高騰、診療報酬改定、人口減少などにより、公立病院経営は全国的に厳しい局面を迎えている。本市においても例外なく経営環境は厳しい状況である中、済生会兵庫県病院との再編統合により持続可能な急性期医療体制を構築することは、地域医療を守る上で極めて重要な取組であるが、現在の進捗状況は。

新病院の基本設計等の策定を進めている

市 新病院基本計画を踏まえ、基本設計の策定を進めている。具体的には、建物全体の配置計画、各部門の機能に応じたレイアウト、患者及び医療従事者双方の円滑な動線計画等の詳細な検討を重ね、令和8年4月中の取りまとめに向けた作業を進めている。今後は、令和8年度に実施設計及び用地取得業務を中心に進め、その後建設工事に着手し、令和12年度中の開院を目指す。(田村市長)

交通安全

自転車に関する道路交通法改正に伴う交通安全教育を

議員 全交通事故に占める自転車関連事故の割合は増加傾向にあり、改正道路交通法では青切符の適用対象が16歳以上となるが、中・高校生世代の自転車事故が多発する中、学校現場への周知及び交通規則習得のための学習機会を設けるべきでは。

交通安全教室等により安全意識の向上を図る

市 市内中学校生徒へリーフレットを配布するとともに、各学校園には交通安全教室の活用による継続的な学習機会を提供する。市広報誌、市ホームページ、さんだ防災・防犯メール等で制度内容を発信し、安全意識の向上を図る。
 (井上危機管理部危機管理監)



説明 青切符(交通反則通告):一定の違反行為をした運転者に対して反則金の納付を通告するもので、令和8年4月より16歳以上の自転車の運転者も対象となった。

公園整備

三田谷公園ジョギングコースの維持管理は

議員 ジョギングコース外周の路面の凹凸が著しく、地盤が削られ安全性が低下している。利用者からの身体的な負担の声もあり、雨水処理の構造的見直しや舗装方法の再検討を含めた抜本的な安全対策が必要では。

安全確保と利用環境の早期改善に向け対応する

市 怪我のリスクが高い箇所は、指定管理者と共有し早急に補修を進め、利用環境の早期改善に向けて対応する。また、根本的な排水機能の改善等、大規模修繕を伴う対策は、長期的な視点から維持管理費の平準化や長寿命化を踏まえながら、段階的かつ計画的に対応する。
 (高寺都市整備部長)

他の質問

フラワータウン地区の再生について 他

さんの未来

佐貫 尚子 議員



市民病院

市民病院再編統合に向けた諸課題への対応は

議員 市民病院の再編統合が進む中、建築費高騰により総事業費661億円が財政に与える影響について、市民から不安の声がある。コスト削減を図り、限られた財源の中で機能整理と身の丈に合った施設規模や投資水準を検討すべきでは。また、市民への情報提供のあり方と跡地活用の方針について、市の見解を伺う。

総合的なマネジメント支援を受け事業を推進する

市 コンストラクション・マネジメントによるコストと品質の均衡を重視した総合的支援を受け基本設計を策定中であり、財政的支援は国・県への要望を継続する。また、基本設計公表時に概算事業費や財政負担を示し、市広報誌や市ホームページ、市政出前講座等により市民へ切れ目ない情報発信を行う。跡地利用は、回復期医療や外来診療機能等を前提に市民の安心を創る場所として進めていく。(田村市長)



説明 コンストラクション・マネジメント:建設プロジェクトにおける計画・設計・施工・維持管理の各段階を通じ、効率化・コスト最適化、品質の向上等を図るための総合的な管理手法



学校給食

学校給食を利用しない家庭への支援を

議員 学校給食無償化はすべての子どもを社会全体で支える制度であり、公平性の観点から不登校やアレルギー等で給食の提供が受けられない児童生徒の保護者に給食相当額を補助する他市事例もあるが、市の見解を伺う。

公平性と持続性の両面から研究していく

市 給食を利用していない家庭の状況把握に努め、財源のあり方や公平性、事務負担等を総合的に整理した丁寧な制度設計が必要である。家庭の経済的・精神的な不利益に直結しない仕組みとすることが重要であり、他市事例も参考に公平性と持続性の両面から研究していく。
 (山本学校教育部長)

水道

災害時の水道業者の確保を

議員 災害時の水道インフラの安定維持・市民の安心確保には、現場を担う水道業者と指揮・管理する行政の体制が不可欠である。水道管更新工事等の継続的な発注による水道業者の技術継承や水道事業に特化した職員の長期的な人材育成が重要であるが、市の見解を伺う。

技術の継承や人材の確保・育成に努める

市 市が工事発注の長期的な展望を示すことで、水道業者の経営リスクの低減を図り、確保・育成・技術継承につなげたい。また、水道技術等に精通した市職員も不可欠であり、技術研修に積極的に派遣するなど、人材の確保・育成に努める。(中田上下水道部長)

他の質問

職員の働きやすい庁内環境と課題認識について 他